

防災訓練行われる

防犯交通安全部

滝沢ニュータウンの自主防災訓練が11月24日(日)、各工区公園で実施されました。

例年は各公園に集合後、ニューシビックセンターに集まって防災訓練を行いました。今年は各公園に集まり、名前を書くという集合訓練のみという形に簡略化して行いました。



二工区公園の様子

二工区では45名の参加者となりました。避難者名簿に記入と共に、以前、防災リーダーより提供された災害時の家庭内の行動計画のパンフレットを配布しました。例年二工区では60名前後の参加者がありますが本年は少なかったの次回回は訓練の広報を強化したいと思います。

一工区では9時前から人が集まり始め、名簿に名前を記入したら、帰ってもよいという話をしたら、いつも通り、公園で一度集合するのかもしれない人もいて、戸惑う様子が見受けられました。

今年は寒い時期であったり、やり方が変わったりと、参加者が少ないようでしたが、ニュータウンは災害が少ない地域とはいえ、何かあるかわかりませんので、いざというときのために

備えをしておく必要があります。

運営をしていただいた防犯交通安全部の方々ご苦労様でした。

▼各公園で落ち葉清掃

秋も深まり、各工区の公園では落ち葉の季節となりました。

今年の最後の公園清掃として一、二、四工区では落ち葉清掃を行いました。

温暖化が進み、落葉が遅くなったせいで、一工区では決められた第二日曜日のほかに、防災訓練の後に有志で2回目の落ち葉拾いを行いました。

三工区では樹木の伐採を行ったため、落ち葉拾いは行わなかったようです。

参加した皆さん、ご苦労様でした。



一工区

令和7年1月11日(日)
新年交賀会をニューシビックセンターで開催します。
皆さんご参加ください
申し込み等、詳細は後日の回覧をご覧ください。

新年交賀会のお知らせ

コミュニティ補助防災テント組み立て

今年度の地域コミュニティ助成事業から防災用テントが交付されました。

11月2日、自治会役員が三工区公園に集まり、テントの組み立てを行いました。テントは滝沢ニュータウン自治会と、文字のプリントもされ、6人で簡単に開けるタイプのもので、テント保管庫も三工区公園に新設され、今後の自治会活動に役立つものとなります。



わが町のアスリート

三工区・駿河藍さん 市から表彰される

八月に行われた、全国高等学校総合体育大会女子二〇〇メートル個人メドレーレースで銅メダルに輝いた駿河藍さん（三工区、盛岡南3年）に、滝沢市特別表彰が贈られました。

幼い頃、身体の弱かった藍さんは、お母さんの勧めで水泳を始めたのがきっかけらしく、あとはどんどん水泳が大好きになっていったそうです。途中でお母さんが「辞めてもいいよ」と話しても、藍さんは決して辞めなかつたそうです。そして藍さんは「水泳を続けていなければ、今の私はないと思う」とまっすぐ私を見て話してくれました。

一日に、四〇〇〇〜五〇〇〇メートルを泳ぐ練習。時には先生の叱咤激励で辛くなる時もあったそうです。でも藍さんはその気持ちを誰にも打ちあけず、自分が速くなればいいのだからがんばろうと自分を鼓舞し、乗り越えてきたそうです。そしてつかんだインターハイ銅メダル。それが一番嬉しかったと満面の笑顔を見せてくれました。

レースが終わって「やったあ」と思った瞬間、お母さんの顔が浮かんだそうです。お母さんはレース前に「楽しんで来てね」って送り出し、「がんばってね」とは言ったことがないとのこと。「がんばらなきゃいけないことは、本人が一番わかっているでしょうからね」って、明るくその理由をお話下さいました。

藍さんのことを一番理解し、明るく見守り続けたお母さんの存在が間違いなく藍さんの心の支えになっていると感じました。

これからも、藍さんはこの日会った時のようにまっすぐ前を見て、胸を張って歩いて、いえ、泳いでいくのでしょうか。藍さんの未来に幸多かれと願い、インタビューを終えました。

（インタビュー・編集委員・三浦）

※令和六年度入賞一部抜粋

8月・全国高等学校総合体育大会女子二〇〇メートル個人メドレー銅メダル

JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳大会十八歳以下チャンピオンシップ女子

二〇〇メートル個人メドレー優勝

9月・国民スポーツ大会競技少年女子A一〇〇メートル自由形県新記録更新、6位入賞



短信

●滝沢市社会福祉大会

滝沢市の社会福祉大会が11月23日（土）ふるさと交流館チャグチャグホールで四年ぶりに人数制限なしで開催しました。

福祉関係者の表彰、福祉作文の表彰のあと、地域活性化・まちづくりコンサルタントの水津陽子さんが「地域づくりのお悩み解決！担い手不足解消に向けたヒントを」と題して講演しました。

水津さんは昭和の時代の自治会から、社会環境の変化・住民ニーズの変化を捉え、令和の自治会になるために、各地の自治会の例をたくさん挙げながら、運営のあり方も令和の時代に合ったものとすべき。ニーズに合った活動で、若い人などを巻き込んでいく方法などを話し、義務の活動から楽しい活動に変えましょう。自治会活動をすることで人と人のつながりを大切にしてコミュニティを作ってください。と話し、ありがとうございました。